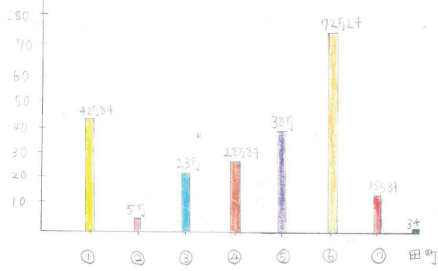


風土と建築

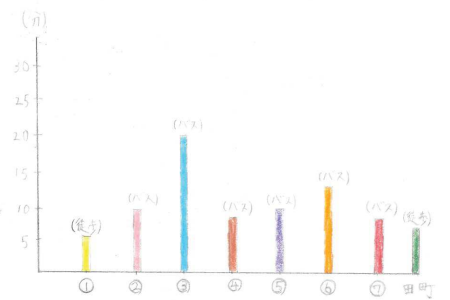
八王子の大学Map



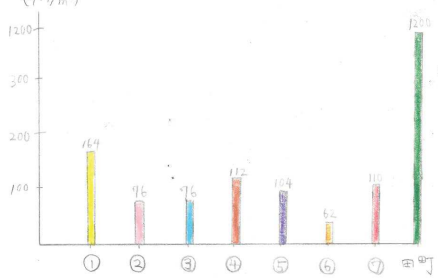
面積 (万m²)



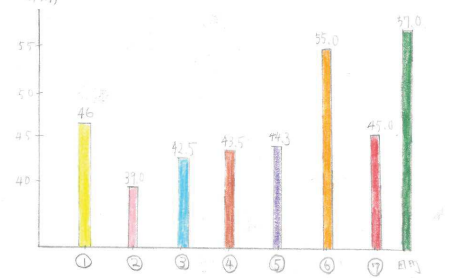
最寄駅からの距離 (m)



地価 (千円/m²)



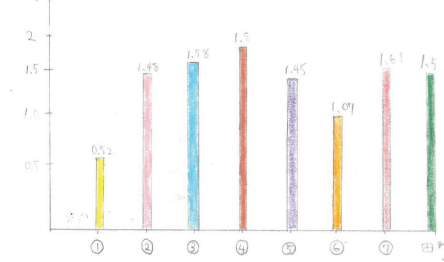
偏差値 (平均)



考察

- ・地下が上がるにつれて、大学の敷地面積が小さくなる。
- ・最寄り駅からの距離が近くなるにつれて、地価は上がる。
- ・偏差地が高くなるほど、キャンパスの敷地面積が大きくなる。
- ・偏差値が低いほど人員増員したわけ、外装が綺麗な傾向がある。
- ・学費が高くて偏差値は低い。

学費 (万円)



特徴

- ① キャンパスが文系ゾーン、法系ゾーン、理系系ゾーン、スポーツゾーンに分かれていて、99様な生活スタイルに精通している。放送ゾーンでは休日にも分かる学費、ていましており、理系男子にしてありがたい空間になっている。それは、アクトレイトモールが広がっており、充実したキャンパスライフが期待できる。
- ② 新設のキャンパスでデザイン性の高いお洒落な建物が多く立ち並んでいる。しかし、セキュリティはゆるゆるであった。土地の低い所から高いところへ敷地が伸びていて登校時は少々足踏になる所となっている。
- ③ 入り口にはテーマパークの様な駐車改札がありセキュリティも高。教室は行棟に区分けされているが、ある程度、一カ所に密集されているため、検索欄の物動はそれほど大変そうではない。
- ④ キャンパスが文系ゾーン、法系ゾーン、理系系ゾーン、スポーツゾーンに分かれていて、99様な生活スタイルに精通している。放送ゾーンでは休日にも分かる学費、ていましており、理系男子にしてありがたい空間になっている。それは、アクトレイトモールが広がっており、充実したキャンパスライフが期待できる。
- ⑤ 他キャンパスに比べ建築数を感ずるにかなりの壁が特徴的。車でキャンパス内に入るには入校許可証が必要。ほぼセキュリティが高く、正門から入るとすぐに校舎棟に囲まれた中庭にて狭いキャンパスだった。
- ⑥ 我が法政大学。面積が7万2400㎡とニセの首都大に約3万㎡の差を付いて圧倒的な広さを誇る。広大なキャンパス内にはバス補助欠かせないものとなっている。キャンパス内には親子ずれや、お孫さん連れのおいちゃんなどが出入りしてファミリーのよう活用も伺える。
- ⑦ 敷地全体に有線モリ打ち放しコンクリートの建物がある。広大なキャンパス。冬場の周辺には雪が降っていて晴れている日に履、靴が濡れることもある。いい。キャンパス内には新設なデザインの彫刻が設置されている。これは美術大学の印象。